

# Kyoto Creative Assemblage

Part 2\_Session 1-1

## Design for Defuturing and Speculation

# 本セッションの概要と達成目標

## 概要

批評的に新しい世界観を表現するアプローチを理論と実践を通して身につけること、そしてビジネスに活かすための新たな生態系を生み出すことを全体の目的とする。

本セッションではまず、スペキュラティブ・デザインに関連する理論や実例に触れつつ、自分自身が未来シナリオをつくり、そしてその世界を体験し「いま・ここ」ではない社会を生きる感覚を養う。

# 本セッションをより楽しくするために 1

科学技術ドキュメンタリー番組や、SF映画などをみよう

- The Future of... (ネットフリックス)
- Black Mirror (ネットフリックス)

未来シナリオ作成における「未来」は、その考え方や世界観次第で排他的で持続不可能となります。そんな危険性を理解し、現実で何がおきているのか、そして未来どうなりうるのか俯瞰することが大切です。

「未来シナリオ」や「Future Scenario」とインターネット上で検索すると多数の情報を入手できますし、SF小説や映画を見るのも効果的です。

# 本セッションをより楽しくするために2

## 近年のデザインの動向を紹介しているテキストを読もう

上平 崇仁 「講演録：『モア・ザン・ヒューマンの視点からデザインを疑う』」 ハテナブログ、2022年6月30日

<https://kmhr.hatenablog.com/entry/2022/06/30/142241>

久保田晃弘 「ものをつくらないものづくり #8 — 未来から遠く離れて」、Make:、2021年3月4日

[https://makezine.jp/blog/2021/03/make\\_without\\_making\\_08.html](https://makezine.jp/blog/2021/03/make_without_making_08.html)

川地真史 「炭素ゼロ大陸を掲げる欧州のビジョン実現にむけた「新しいバウハウス」NOTE、2021年2月12日

<https://note.com/masa1639/n/nd7e9a7bb9255>

上平 崇仁 「デザインを「存在論的」に捉えるとは」 ハテナブログ、2020年10月

<https://kmhr.hatenablog.com/entry/2020/10/11/091746>

森 一貴 「存在論的デザイン・存在論・人類学の存在論的転回ってなんやねん」NOTE、2020年12月

<https://note.com/dutoit6/n/n8b0f19f3eb4a>

岩淵 正樹 「デザイナーが読むDesigns for the Pluriverse - 多元的なデザインとは何か？」NOTE、2019年10月14日

<https://note.com/iwabm/n/n1757418d4ba7>

# 本セッションをより楽しくするために 3

## 近年のデザインの動向に関連するテキストを読もう

### ースペキュラティブ・デザインに関連する書籍や論文

アンソニー・ダンほか スペキュラティブ・デザイン (2015年、BNN新社)

マット・マルパス クリティカルデザインとはなにか (2019年、BNN新社)

長谷川愛 20xx年の革命家になるには (2020年、BNN新社)

津坂真有(2015) 科学技術の倫理的・社会的課題を検証するデザイン手法の提案 未来歴史学: クリティカルデザインの可能性. In 日本デザイン学会研究発表大会概要集 日本デザイン学会 第62回研究発表大会 (p. 129). 一般社団法人 日本デザイン学会.

川原圭博(2019) スペキュラティブエンジニアリング—技術と未来洞察 電気学会論文誌 E (センサ・マイクロマシン部門誌)139(3),40-44.

吉田幸司(2019) スペキュラティブ・デザインと スペキュラティブ・フィロソフィー. プロセス思想, 19, 32-46.

# 本セッションをより楽しくするために 4

## 近年のデザインの動向に関連するテキストを読もう

### 一多様性、他者、非人間などに関連する書籍

ジョナサン・シャリアートほか	悲劇的なデザイン	(2018年、BNN新社)
アナ・チン	マツタケ	(2019年、みすず書房)
篠原雅武	人新世の哲学	(2020年、人文書院)
キャロライン・クリアド＝ペレス	存在しない女たち	(2020年、河出書房新社)
伊藤亜紗ほか	「利他」とは何か	(2021年、集英社新書)
奥野 克巳ほか	モア・ザン・ヒューマン	(2021年、以文社)
MOSA、奥野 克巳ほか	マンガ版マルチスピーシーズ人類学	(2021年、以文社)
パトリシア・ヒル・コリンズほか	インターセクショナルリティ	(2021年、人文書院)
水野大二郎・津田和俊	サーキュラーデザイン	(2022年、学芸出版社)
アルトゥーロ・エスコバル	開発との遭遇	(2022年、新評論)
ピーター・ジョーンズほか	システミック・デザインの実践	(2023年、BNN新社)

# Speculative Design

Dunne, A., & Raby, F. (2013). Speculative Everything: design, fiction, and social dreaming. MIT press. chapter1 p.2 水野翻訳

ほとんどの人はデザインを問題解決だと考える。より表現力豊かなデザインも、美的問題の解決のためである。

人口過剰、水不足、気候変動などの大きな課題に直面したとき、デザイナーはそれらを分解し、数値化し、解決できる課題かのように捉え、協力したいという強い衝動に駆られるものだ。デザインの本質的な楽観主義に代わるものはなく、今日私たちが直面している課題の多くは修正不可能である。それらを克服する唯一の方法は、私たちの価値観、信念、態度、行動を変えることにありと明らかになりつつある。

デザインに備わった楽観主義が、物事を大きく複雑にする傾向がある。第一に、私たちが直面している問題が見た目よりも深刻であることを否定してしまう。第二に、私たちの頭の中にある世界を形作る考えや姿勢ではなく、外界をいじくり回すことにエネルギーや資源を注ぎ込んでしまう。

しかし、あきらめるのではなく、デザインには別の可能性がある。ひとつは、物事がどのようにあり得るかを推測する手段としてデザインを用いること—スペキュラティブ・デザインである。このようなデザインは、想像力を駆使して、いわゆる「厄介な問題」に対して新たな展望を切り拓き、、、人々の想像力を刺激し、自由奔放にさせることにある。

デザインの思索 (Design Speculation)は、私たちの現実との関係を再定義する触媒として働くことができるのだ。

# Tony Fry(1999) *A New Design Philosophy: An Introduction to Defuturing*

New South Wales University Press Ltd

## Defuturing:

現在、我々が直面する危機、環境問題の根源は現代における「開発」に関する知的基盤にある。環境保護主義者が言うような「開発モデルの危機」というよりも、これは開発という「アイデアそのもの」の危機である。

持続可能性の追求という重大かつ歴史的な課題に取り組むために、フライは「持続可能でないもの」を強調することが重要だと主張する。そのために彼は「Defuturing」という概念を提唱する。持続可能でない開発やデザインは、本来あるべき未来の一部を破壊し収奪してしまう。Defuturingは、こうした非持続的なものに対する新しい見方であり、持続可能性への第一歩として位置付けられる。

# Thomas, V., Remy, C., & Bates, O. (2017).

The limits of HCD: Reimagining the anthropocentricity of ISO 9241-210. In Proceedings of the 2017 Workshop on Computing Within Limits (pp. 85-92). 水野翻訳

人間中心設計（HCD）とは、まさに「人間中心」のことである。地球の生物物理学的システムの限界に近づきつつある現在、人間をデザイン決定の中心に据えることはもはや適切とは思えない。しかし、HCDとそのISO-9241-210:2010は、多くのコンピュータやデザイン部門、そしてその関連産業において、強力かつ人気のあるツールとして存在し続けている。これらのデザインアプローチは、デジタル技術がもたらす広範な環境的・社会政治的影響を無視する一方、すでに特権を持ち、デジタル環境に接続された人々の生活水準を漸進的に向上させる傾向を維持している。

HCDを乗り越えるために：

- ・ 持続可能な工学的実践、環境決定論、政治生態学に関する研究などからも多くの教訓が得られる可能性がある
- ・ 「ユーザー」の定義に「コミュニティ」を含める？「ユーザー」の拡大定義に何を含まうるか  
(例えば、昆虫やバクテリアは、生態系において重要な役割を担っている)
- ・ すべての HCI 研究は倫理的問題を考慮に入れ、研究、技術開発、介入の倫理的正当性を保証する必要がある  
(ボリビアが地球の基本的な自然権を認識し、ニュージーランドが川に対して人権を付与した例を参照)
- ・ 西洋から意図的に抹消されてきた、先住民の認識論から学ぶこと

# Systemic Design

システム全体を包括的にとらえ、変容が浸透していくことを目指したデザインを分野横断的に探索・実行すること。

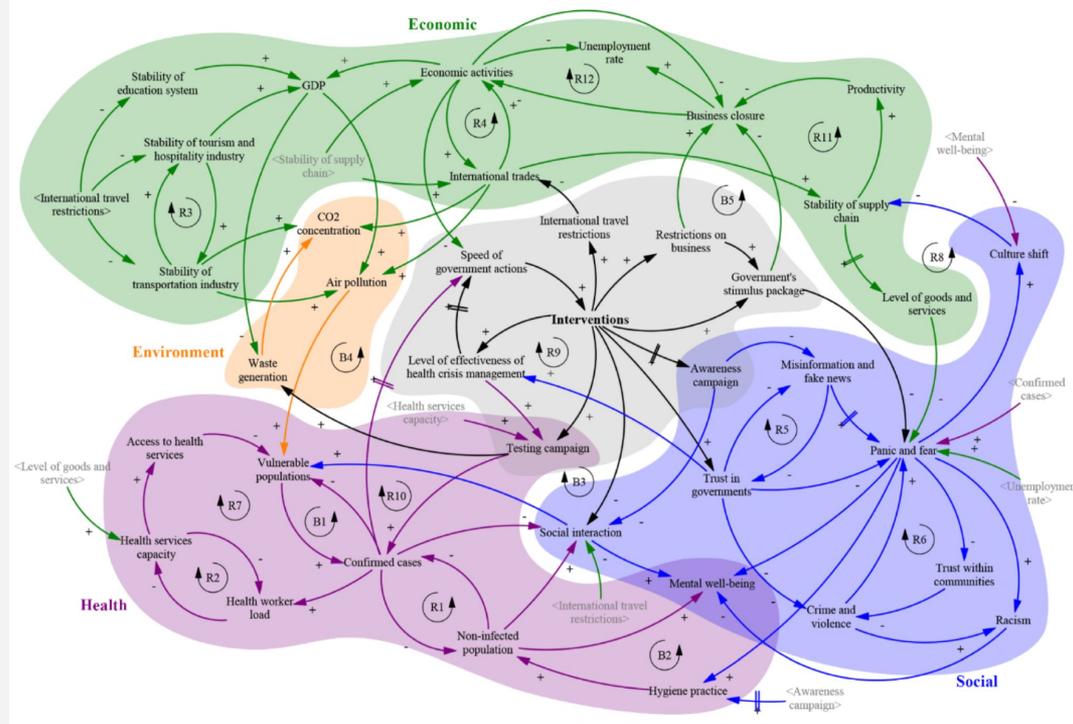
## ○ Systemic

システムック：包括、全体、全身、全体への浸透

## × Systematic

システムチック：組織的、体系的、秩序・整然、機械的

複数の要因の関係性を見据え、エコシステムの中に効果的な介入点（複数のレバレッジポイント）を見出す。



A preliminary causal loop diagram demonstrating the complexity of the COVID-19 pandemic environmental-health-socio-economic system.

Sahin, O.; Salim, H.; Suprun, E.; Richards, R.; MacAskill, S.; Heilgeist, S.; Rutherford, S.; Stewart, R.A.; Beal, C.D. Developing a Preliminary Causal Loop Diagram for Understanding the Wicked Complexity of the COVID-19 Pandemic. *Systems* 2020, 8, 20. <https://doi.org/10.3390/systems8020020>